



公益社団法人 石川県作業療法士会 ニュース

第128号 2023年9月20日 発行

第31回石川県作業療法学会を終えて

第31回石川県作業療法学会 学会長 川上 直子
(恵寿総合病院)

6月24日(土)・25日(日)に、石川県地場産業振興センターにて第31回石川県作業療法学会が開催された。参加者は現地87名、オンデマンド41名であった。1日目の教育セミナーはキャリアアップ・キャリアチェンジについて石川県で活躍される専門OTの明福真理子氏、寺田佳世氏、自動車学校勤務の高間達也氏にお話しいただき、日々の経験を積み上げていくことの大切さや、そこから仕事や生活の幅が広がる楽しさ・やりがい伝わった。2日目の特別講演では横浜市立脳卒中・神経脊椎センターの早川裕子氏に高次脳機能障害の作業療法の基礎から実践について、経験を通じた考えをお話しただけた。対象者ひとりひとりから学ぶことの多さを示されたが、その学びは医学的知識や基本を持ち、症状をみて考え工夫するからこそ生まれるものであり、1日目のセミナーから通して、基礎的な勉強や臨床から得たものを大切にまとめることがOTの可能性を広げることにつながると感じた。一般演題24題も病院施設内での実践に関するものから就学就労での他機関との連携など幅広く、興味深いものばかりだった。学会長奨励賞は城北病院の富水悠

那さん、株式会社笠間農園の笠間令子さんが選ばれた。富水さんは事例の心身の評価や病歴への配慮がしっかりされているいい発表だった。笠間さんの発表は正に専門性を活かし、生活の可能性を広げる実践をされており、OTは社会の様々な場所で活躍できるのではないかとワクワクを与えてくれた。

この学会は私にはとても大役だったが、学術部や運営協力の方たちが支えてくださり、心から感謝している。現地での引き締まる気持ちや、楽しさは格別であり、今学会でもフロアからの積極的な質問や意見などを多く聞けてとてもよかった。今回参加された方はまた来年も、参加できなかった方も是非次回は職場や同期の方たちと共に・・・これからもよりたくさんの方々と一緒に学ぶたのしさを味わいたい。来年は東海北陸学会、またお会いできることを楽しみにしている。



学会運営スタッフ



早川裕子氏



明福真理子氏



寺田佳世氏



高間達也氏

第31回石川県作業療法学会に参加して

金沢脳神経外科病院 小中 創太

今回、第31回石川県作業療法士学会で発表を行った。今回の県学会を通して、得られたものはとても多かったと感じた。発表事例に対する意見や、自身の臨床分野とは異なる分野の事例と、それに対する介入の一例を聞くことができる貴重な体験となり、自身だけでは足りない視点をたくさん学ぶことができる場になった。また、様々な特別講演の中で印象的だったことは、患者のできないことを明確にするのではなく、できることを見つけ、それを起点に作業療法を展開していくことが改めて重要であると思った。それに加え、リハビリテーションに精一杯取り組む患者に対して、出来ないことや困難なこと、不足していることばかり

を取り上げて、プレッシャーとなってしまう関わることができるように、患者側の気持ちをくみ取れることを意識して、より良い作業療法を提供していこうと思った。さらに経験を積んで、また県学会に事例発表で参加したいと考えている。



学会長奨励賞受賞者から一言

株式会社笠間農園 笠間 令子

演題名「作業療法を活かした農福連携～障害者や高齢者が活躍する農園運営を通して～」

この度は、思いもかけない県学会奨励賞の受賞、誠に感謝しております。嫁ぎ先の農園に「畑でリハビリを！」という思いで障害者を受け入れ7年目になります。医療現場ではない農園という場所ですが、作業療法士の学びを活かし、多様な人材が活躍できるよう今後も努力していきます。私は、作業療法士という仕事が大好きです。

城北病院 冨水 悠那

演題名「内発的動機付けにより ADL・IADL の改善を認めた右上腕骨骨折患者」

この度は栄誉ある賞を頂き、誠に光栄に思います。右上肢の疼痛により日常生活動作が制限されていた症例が内発的動機付けにより改善していく経過をみて、作業療法における目標設定の重要性を改めて感じました。今後も患者さんの意味ある作業に着目し、その人らしい生活が行えるよう支援していきたいです。



(左から)笠間氏、川上学会長、冨水氏

2023年度マネージメント研修会の報告

事務局長 麦井 直樹
(金沢大学附属病院)

7月23日(日)午後半日をかけて、マネージメント研修会(旧リーダー研修会)が、金沢大学附属病院CPDセンターで開催された。今回は、石川県作業療法士会として先駆的に掲げているSDGsの取り組みについて、県士会の立場からや病院の取り組みの立場から、越田雄氏、川上直子氏に各々ご報告いただいた。また昨年につき、職場教育についても千田茂氏、大西真澄美氏にご報告いただいた。会長の東川哲朗氏

からは、作業療法士協会および当会の取り組みと課題について、講演があった。今年は、すべての講演が終わった後に参加者によるグループディスカッションが行われ、問題点や解決法について情報共有した。協会や士会、各施設の難題が多くきかれたが、ポジティブな意見や課題解決のヒントも聞け、参加者からは参加してよかったとの声をいただいた。



「中高生と高齢者の交流会」開催

事業部部長 宮腰 真
(JCHO金沢病院)

「中高生と高齢者の交流会」は、地域の高齢者の課題解決と中高生のキャリア教育をつなぎ、よりよい社会づくりを目的としている。

今年度1回目は、8月19日(土)に地域包括支援センターとびうめにて開催された。参加者は高校生7名、高齢者7名で、高校生が高齢者にスマートフォンやタブレットの使い方などを伝え、課題を解決しながら交流を図った。高齢者からは、「若い人と話ができて、とても楽しかった。」との感想が聞かれた。また、高校生は、高齢者との関わり方や新しい発見があったようだ。日頃接する機会が少ない世代間の交流は、笑顔が溢れ、高齢者は、高校生からエネルギーと現代の知恵を受け取り、高校生は、人の役に立てる喜びや高齢者との会話から優しさを受け取っていた。

また、今年から交流会終了後に高校生向けミニOT

セミナーも行っている。交流会やミニOTセミナーを通して作業療法に触れ、作業療法士を目指す学生が増えることを期待したい。



交流会の様子

現職者選択研修(身体障害領域)の報告

身障医療部理事 越田 雄
(JCHO金沢病院)

8月5日(土)に金沢勤労者プラザで開催し、32名が参加した。急性期、回復期、老健、訪問それぞれの領域について講義を受けた後、訪問領域の事例についてグループワークを行った。本研修においては3年ぶりの現地開催であり、グループワークにおいては、対面ならではの活発な議論が展開されていた。参加者からは「わかりやすい講義で明日からの臨床に生かせる内容だった」、「各領域について、その役割と考え方を学ぶことができた」、「他施設のOTと対面して意見を交わせたことで見識が広がった」といった意見が多数挙がり、有意義な時間を過ごしていただけたと思っている。さて、身障医療部では、10月21日(土)に「中・高齢期の手の疾患におけるスプリント療法」をテーマに作業療法実践セミナーを開催する。講義

に加えてスプリント作成の実技もあり、より実践的なセミナーとなっている。年代や領域を問わず、多数の方のご参加をお待ちしている。



第3回生活行為工夫情報コンテスト開催について

福祉機器部理事 越田 雄
(JCHO金沢病院)

令和3年度より、石川県士会は日本OT協会が実施する生活行為工夫事業に参加している。本事業は生活行為の課題解決に向けた工夫情報等を集積、提供することを目的としており、会員に対して福祉用具相談支援システム(以下システム)への利用登録と、生活行為の課題を解決した工夫情報をシステムに投稿するよう呼びかけている。昨年度より他県士会の投稿事例も一部閲覧可能となり、石川県士会員がシステムで閲覧できる工夫情報は現在100事例以上となっている。まずはシステムに登録し、コンテスト入賞者の工夫情報をはじめ、県内外で投稿された様々な工夫情報をご覧いただきたい。石川県士会では、今年度も本事業を推進するために「第3回生活行為工夫情報コンテスト」を開催している。今年度よりシステムへの事例投稿が日本作業療法士協会生涯教育制度の士会裁量ポイント(2ポイント)の対象になったため、領域や分野、経験年数を問わず、多くの工夫情

報の投稿をお願いしたい。また、今まで学会や事例検討会等で発表した事例を投稿することも可能である。会員各自が積極的に事例を投稿して、閲覧できる工夫情報数を増やすことでシステムの実用性が高まり、より多くの対象者に質の高い作業療法を提供できると考えている。



福祉用具相談
支援システム
新規利用登録ページ

第3回 生活行為工夫情報コンテスト

2023年 4月～2024年2月29日までの投稿事例

最優秀賞 1名
優秀賞 3名

2023年 4月～2024年2月29日までの投稿事例

※今年度より、生活行為工夫事業が生涯教育制度の対象となり、生涯教育ポイント(2ポイント)の対象となります。

【コンテストの目的】
福祉用具相談支援システム(以下システム)への工夫情報投稿を促進し、事例の質を向上させること。

【応募資格】
日本作業療法士協会 生涯教育制度の対象となる方(日本作業療法士協会 生涯教育制度の生涯教育ポイント(2ポイント)の対象となります)。

【応募期間】
2023年4月～2024年2月29日(最終受付)まで。

【応募方法】
福祉用具相談支援システム(以下システム)にログインし、投稿する。

【審査】
福祉用具相談支援システム(以下システム)に投稿された事例の中から、審査員が最優秀賞、優秀賞、佳作を選定する。

【賞状】
最優秀賞、優秀賞、佳作の各賞状を授与する。

【お問い合わせ】
福祉用具相談支援システム(以下システム)のヘルプページをご覧ください。

福祉用具相談支援システム利用登録方法

1. 福祉用具相談支援システム(以下システム)にアクセスしてください。

2. 利用登録のためのIDとパスワードを入力してください。

3. 事例の閲覧や投稿はコチラ

4. アドバイザーへ個別相談も可能

5. 福祉用具相談支援システム(以下システム)にログインし、投稿する。

6. 福祉用具相談支援システム(以下システム)にログインし、投稿する。

7. 福祉用具相談支援システム(以下システム)にログインし、投稿する。

8. 福祉用具相談支援システム(以下システム)にログインし、投稿する。

9. 福祉用具相談支援システム(以下システム)にログインし、投稿する。

10. 福祉用具相談支援システム(以下システム)にログインし、投稿する。

11. 福祉用具相談支援システム(以下システム)にログインし、投稿する。

12. 福祉用具相談支援システム(以下システム)にログインし、投稿する。

13. 福祉用具相談支援システム(以下システム)にログインし、投稿する。

14. 福祉用具相談支援システム(以下システム)にログインし、投稿する。

15. 福祉用具相談支援システム(以下システム)にログインし、投稿する。

16. 福祉用具相談支援システム(以下システム)にログインし、投稿する。

17. 福祉用具相談支援システム(以下システム)にログインし、投稿する。

18. 福祉用具相談支援システム(以下システム)にログインし、投稿する。

19. 福祉用具相談支援システム(以下システム)にログインし、投稿する。

20. 福祉用具相談支援システム(以下システム)にログインし、投稿する。

第23回東海北陸作業療法学会 オール石川で盛り上げていきましょう！

第23回東海北陸作業療法学会 実行委員長 堀江 翔
(金沢大学附属病院)

日時 2024年9月14日(土)～15日(日)

会場 石川県文教会館・金沢商工会議所

学会テーマ 『作業の力を魅せつけろ』

～出て来てください、語ってください、あなたの自慢の作業療法～

来年9月14日(土)、15日(日)は石川県士会主催、東川哲朗学会長の下で第23回東海北陸作業療法学会を開催する。現在は講演・セミナーなどの企画を練っている段階であるが、学会長から世代交代を積極的に行っていきたいとの声がある。企画は学会コンテンツの軸となり、多くの参加者を集める非常に重

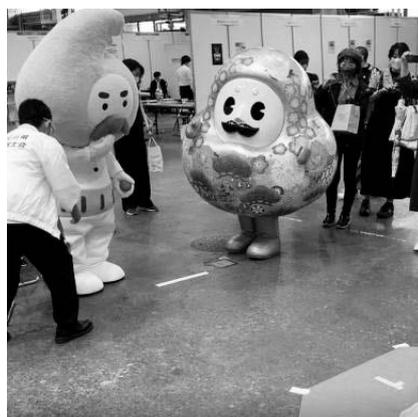
要な部分である。実行委員に限らず、若手から積極的に身近な理事・支部長などに「こんな企画はどうか？」と様々な意見をいただきたい。自らが関わった学会の盛況は代えがたい自己効力感を得られると実感している。オール石川で素晴らしい学会を作り上げたいと考えているので、是非協力をお願いしたい。

「令和5年度いしかわ介護フェスタ」について

老年医療部理事 加藤 孝之
(町立富来病院)

11月4日(土)に石川県産業展示館3号館において「令和5年度いしかわ介護フェスタ」が開催される。今年度も石川県作業療法士会の出展ブースを設けて参加することとしている。昨年度は、ストローホルダー作り、ボッチャ体験、パネル展示、パンフレット配布をおこない、約160名が当ブースに訪れてくれ大変盛況だった。今年度もパネル展示や体験コーナー、パンフレット配布等をして作業療法の魅力や重要性について来場された方に伝えていく予定をしている。

当日は介護分野に関係する様々な団体の出展ブースがあり、介護分野全体の知識や技術を知る機会にもなると思われる。若手OTから中堅・ベテランOTまで幅広い方々に来場していただきたい。また所属機関の他職種の方にも来場を呼び掛けていただきたい。介護フェスタ当日に体験コーナーを手伝っていただけるOTを絶賛募集中である。興味のある方はお気軽に富来病院 加藤まで連絡を。(写真は昨年度の様子です。)



今年も開催します！

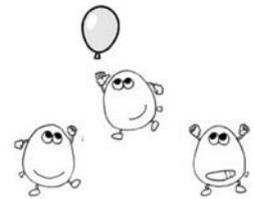
リハビリテーション・スポーツフェス2023について

企画部担当理事 種本 美雪
(専門学校 金沢リハビリテーションアカデミー)



本会の大きなイベントである「風船バレーボール大会」は、検討の上、大変残念だが今年も中止する運びとなった。一方で、当会では感染対策を考慮しつつも、障害を持たれた方に「活動できる場」「参加できる場」として、多くの方が活躍できる場を提供したいと考えており、「仲間とスポーツを楽しむ」をテーマに、今年度も「リハビリテーション・スポーツフェス2023」を企画している。個人エントリーの4種目は、より楽しんでもらえるようルールバージョンアップを予定している。また今回新たにチーム戦である「団体エントリー」を企画しており、競技内容も現在、検討を重ねている。詳細な大会要項などは10月の配信予定で、競技エントリー期間は11月上～中旬頃から12月中旬を予定している。(詳細は県士会発行物・県士会HPを確認頂きたい)

今年から個人戦に加え、団体戦も加わり、更に施設でも自宅でも、家族や仲間たちで各競技に参加頂き皆さんで盛り上がり頂きたい。



令和5年度臨床実習指導者講習会(石川県)の開催と今後の動向

担当理事 米田 貢
(金沢大学)

【令和5年度の臨床実習指導者講習会】

今年度は令和6年1月20日(土)と1月21日(日)の2日間でオンライン開催となる。石川県での日本作業療法士協会の養成プログラムでの開催は、今回で8回目となる。昨年度末の県内の作業療法士の臨床実習指導者は500名を超えた。

本講習会は臨床経験5年目以降に受講可能となる。講習会は講義と演習からなり、厚生労働省が指定したカリキュラムで構成されている。講義に加え、7つの演習で構成されており、受講者7-8人のグループ討議で学習を進める。

この制度が導入された経緯をしっかりと理解し、どのように学生指導を行っていくことが望ましいのか、実例を通じて深めていただきたい。

講習会の参加締め切りは令和5年11月2日(木) 12:00です。詳細は県士会HPの研修案内を参照のこと。

申込：<https://forms.gle/TyXeZj3RTu897BsC6>

【今後の臨床実習指導者講習会】

今後、年に30-40名程度の新規受講者が見込まれることから開催継続を考えている。近年の開催はコロナ禍の影響がありオンラインであったが、本講習会は対面実施を基本としていることから、今後は参集しての開催になると考えられる。

【+αの卒後教育、指導力の向上を目指して】

今後求められる臨床力は、学生指導だけでなく患者・家族への説明も含め、自らの作業療法を他者のレベルに応じて分かりやすく説明できる能力が求められる。当会は、石川県作業療法教育協議会(当会と県内養成校で構成)と連携し、医学的知識だけでなく、コーチング、思考整理、プレゼン等の総合的な指導力、マネジメント技術の向上を目指した研修会を企画していく予定である。

会員の積極的な参加を期待している。



能登支部

恵寿総合病院 小川 正人

8月25日(金)に、MTDLP事例検討会を開催した。15名が参加し1事例を検討した。急性期術後せん妄を有した認知症患者の「お参りしたい」という思いを生活目標とし、早期離床と排泄獲得に向けた取り組みを皆で濃密に議論した。したい生活行為が、生活全般の動機づけになっていくというMTDLPの基本と、予後予測してできない事は、必ず要因を分析し次に繋げる大切さを皆で共有できた。10月6日(金)に事例検討会を予定している。是非皆さんともよい時間を共有したい。

加賀支部

片山津温泉・丘の上病院 西村 幸盛

7月5日(水)に、第1回MTDLP事例検討会を開催した。Zoom形式で2事例、29名の参加であった。ネグレクトにて入院したパーキンソン病患者に対してQOL向上のために介入した例や、圧迫骨折で入院したCOPD患者に対し、トイレでの排便を目指した例が報告され、検討課題について討議がなされた。輪島市や七尾市、金沢市など遠方からの参加者もあり、オンラインで行うことのメリットを享受することが出来た。今後の実施形態は、ハイブリッドや現地開催にシフトすると思われるが、遠方からの参加も引き続き期待する。

金沢西支部

石川県リハビリテーションセンター 長原 美穂

7月19日(水)に、第1回MTDLP事例検討会を開催した。金沢西地区および加賀地区から2事例の報告と17名が参加した。

事例は、独居で退院時には自動車運転が困難と判断され、外出手段の獲得や独居再開に向けて取り組んだ事例と心筋梗塞後の高齢男性の外出手段として、電動四輪車を導入し、活動を再開した事例であった。2事例とも移動手段の獲得という点で共通しており、公共交通機関の利用が現実的ではない場合の社会資源の活用や電動4輪車導入にあたっての評価方法など、様々な情報を得ることができた。

金沢東支部

公立河北中央病院 市川 翔悟

6月16日(金)に、第1回事例検討会がハイブリット形式で開催された。26名の参加があり、他支部からの発表や参加者もあり良い刺激となった。また、金沢大学附属病院の堀江氏からオキシマイザーに関するミニレクチャーもあり、大変勉強になる事例検討会であった。今後も金沢東支部では事例検討会に加え、ミニレクチャーも開催予定である。他施設で作業療法士が何をしているかを知るよい機会であるため会員の皆様には是非参加いただきたい。

◆◆◆令和5年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第10回総会 議事録◆◆◆

- 日時：令和5年5月20日(土) 15時00分～15時40分 場所：KKRホテル金沢3階鳳凰の間
 - 出席理事：安本、麦井、米田、桂、合歡垣、種本、酒野、越田、東、中森、永井、合歡垣、(以上12名)
出席監事：後出氏、進藤氏 欠席理事：東川、寺田、村井、坂下、柿島、高橋
議長：堀江翔氏(金沢大学附属病院) 書記：山本恭啓氏(金沢脳神経外科病院) 議事録署名人：西悦子氏(金沢大学附属病院)、菊池ゆひ氏(金沢大学)を任命
議決権のある会員の数：826名 出席者数：596名(うち委任状563名、書面議決書提出者数197)
- 【審議事項】<第1号議案>令和4年度事業報告もついで安本副会長より報告があった。 **承認**
- <第2号議案>令和4年度収支決算について安本副会長兼財務担当理事より説明があった。 **承認**
- <第3号議案>令和5年度事業計画について安本副会長より説明があった。 **承認**
- <第4号議案>令和5年度予算について安本副会長兼財務担当理事より説明があった。 **承認**
- <第5号議案>役員選挙報告について小浦選挙管理委員長より報告があった。 **承認**
- <第6号議案>永年会員・休会制度、学生会員創設について安本副会長より説明があった。 **承認**
- <第7号議案>定款変更について安本副会長より説明があった。 **承認**

◆◆◆令和5年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第2回理事会 議事録◆◆◆

- 日時：令和5年5月20日(土) 16時00分～16時30分 場所：KKRホテル金沢3階やよいの間
- 出席理事：麦井、米田、合歡垣、桂、種本、酒野、越田、東、中森、永井、加藤、高多、堀江、菊池、坂下、鈴木(理事16名) 監事：後出氏、進藤氏 欠席理事：東川、村井 書記：山本、築山、濱岸
- 議事【議決事項】

<第1号議案>役員の選任について代表理事(会長)に東川哲朗氏、副会長に米田貢氏、桂靖典氏、合歡垣紗耶香氏を選定し、満場一致で承認された。会長及び副会長は、即時就任を承諾し、組織について麦井事務局長より説明があった。 **承認**

<第2号議案>令和5年度新入会会員50名について麦井事務局長より報告があった。 **承認**

<第3号議案>その他：理事2名より担当理事2名体制、理事会連絡会の予定、新理事研修等についての質問、要望があった。麦井事務局長より会員数減少を防止するため、未入会者に声掛けの協力依頼があった。 **承認**

◆◆◆令和5年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第2回理事連絡会 議事録◆◆◆

- 日時・場所：令和5年7月7日(金) 19時～21時 西泉事務所および Zoom使用によるWeb会議
- 出席：東川、麦井、米田、堀江、菊池、村井、東、(以上会場)、中森、永井、酒野、越田、加藤、種本、(理事17名) 市川、長原、西村、小川(支部長4名) (以上Zoom) 書記：山本(Zoom)、築山、濱岸
- 議事【審議事項】

《地域保健福祉部一保健》協会地域包括ケア推進班からの情報を会員に発信していきたい。
ニュースレターを作成したいが、どのような発信方法がよいか？紙での配布とHPに載せる。 **承認**

《執行部》学生会員について入退会はグーグルフォームを使用。7/10から募集開始。 **承認**
理事オリエンテーションはWEB開催でよろしいか？ **承認**
2024東海北陸学会についてキックオフミーティングを開始したい。 **承認**

《福祉機器部》生活行為工夫事業事例投稿者に士会裁量ポイントを付加することか可能か？
教育部の確認が必要 **承認**《企画部》今年度の風船バレーボール大会の開催は参集型の開催は困難。リハフェスが妥当。 **承認**《広報部》県士会ニュース128号の原稿メット切8/23、発行9/20でよいか **承認**

《MTDLP》書き方研修について今年度も引き続き指導者に謝金を支払い、研修してもよろしいか？ **承認**
令和5年度の北陸3県MTDLP事例検討会は石川県士会が主催となる。他県との足並みがそろわないので、会長から打診を依頼したい。 **承認**

《災害》協会よりJIMTEF災害医療研修の案内あり、委員5名の参加希望ある。当委員会の人材育成予算でベーシックコースに4名参加してもよろしいか？ **承認**

インフォメーション 研修会案内・県士会活動

10月1日(日) 教育部
現職者共通研修

10月27日(金) 金沢東支部
第2回事例検討会

10月6日(金) 能登支部
第2回事例検討会

11月1日(水) 加賀支部
第2回MTDLP事例検討会

10月14日(土) 福祉機器部
研修会

11月3日(金・祝) 教育部
現職者共通研修

10月18日(水) 金沢西支部
第2回MTDLP事例検討会

11月17日(金) 能登支部
第3回MTDLP事例検討会

10月21日(土) 身障医療部・老年医療部
作業療法実践セミナー

11月23日(木・祝) 教育部
現職者選択研修 MTDLP基礎研修



「超高齢社会」における
現場での悩みを解決したい方や、
学びの追及をしたい方へ。

金城大学 大学院で学んでみませんか？

- ・総合リハビリテーション学研究科
- ・総合リハビリテーション学専攻（修士課程）

遠隔オンライン
学習対応

安心設定の
学納金

就業しながら学べる
昼夜開講制



2022 年度
「作業療法士」
国家試験合格率 **95.7%** (2022 年度卒業生実績)
(全国平均 91.3%)



金城大学

詳しくは、
ホームページを
ご覧ください。



全国に広がる有料老人ホーム

パーキンソン病専門 PDハウス



施設 ビジョン

「我がままに生きる」

「病気だからできない」ではなく「病気でもできることはある」という視点から、利用者様が様々なものに挑戦できる環境を目指しています。また、現場で働くセラピストの想いや技術が活きる、未来ある場所になるよう日々試行錯誤しています。

働き方改革 目標

2023年に向けた

公休数
120日

残業
0時間

有給取得
100%

PDハウス野芥 笠松 朋枝

PDハウスには、元気で優しく知識が豊富で、尊敬できるスタッフさんがとても多いです。私もまだまだ周りの皆さんに助けてもらうことが多いのですが、これからも私自身が成長し、頼ってもらえるような存在になることが目標です。

出店計画

<p>■ 北海道エリア</p> <p>PDハウス西野 2020.11</p> <p>札幌2号店 2021.春</p>	<p>■ 関東エリア</p> <p>PDハウス相模大野 2021.01</p> <p>東京1号店 2021.夏</p> <p>神奈川2号店 2021.秋</p>
<p>■ 福岡エリア</p> <p>PDハウス有田 2020.06</p> <p>PDハウス今宿 2021.05</p>	<p>■ 関西エリア</p> <p>PDハウス岸部 2021.06</p> <p>大阪2号店 2021.秋</p>

働き方
公開中!



介護サービス
サンウェルズ

| 0120-905-166

賛助会員名簿 (順不同)

A会員

社会医療法人董仙会
学校法人 金城学園

B会員

学校法人 センチュリー・カレッジ
社会福祉法人徳充会 青山彩光苑
特定医療法人社団勝木会
医療法人社団和宏会

C会員

粟津神経サナトリウム
石川県済生会金沢病院
石川県リハビリテーションセンター
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院
医療法人社団浅ノ川千木病院
医療法人社団映寿会
医療法人社団さくら会森田病院
医療法人社団慈豊会
医療法人社団丹生会
医療法人社団生会えんやま健康クリニック
医療法人社団扇寿会
医療法人社団長久会
医療法人社団千木福久会
社会福祉法人寿福祉会
医療法人積仁会

金沢医科大学病院
独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院
金沢赤十字病院
公立穴水総合病院
公立宇出津総合病院
社会福祉法人篤豊会
社団法人石川勤労者医療協会城北クリニック
城北病院
珠洲市総合病院
芳珠記念病院
医療法人社団 竜山会 金沢古府記念病院
医療法人社団持木会 柳田温泉病院
医療法人社団 光仁会
医療法人社団橘会整形外科米澤病院
宇野酸素株式会社
金沢義肢製作所
株式会社トータルシステム
株式会社トミキライフケア
エア・ウォーター・リンク株式会社 北陸支店
セントラルメディカル株式会社
株式会社 メディベック
株式会社 サンウェルズ

D会員

医療法人社団 あいずみクリニック
有限会社 さわやか金沢
東洋羽毛北信越販売株式会社北陸営業所

Web会員手続きQRコード



QRコードの説明

Web会員手続きがお済みでない会員は、QRコードからWeb会員登録フォームにアクセスして登録してください。登録いただいた

メールアドレスに研修会案内や県士会からの連絡などをML配信します。



県士会Web QRコード▶



会員数

会員数 877名(令和5年8月現在) 認定作業療法士 35名(8月現在) 専門作業療法士 5名(8月現在)

新会員

反橋海斗(米澤病院)

編集後記

今年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行し、少しずつではあるがコロナ禍前の生活に戻りつつある。ホッとしていた矢先、我が家に突如コロナがやってきた。大騒動である。家庭内での緊急事態宣言となったが、なんとか乗り切った。手指消毒・うがいという感染予防対策の基本が少し疎かになっていたことを痛感し、改めて「基本」が重要だということに気づかされた。健康な身体づくりを意識しながら日々過ごしていきたい。

公益社団法人石川県作業療法士会ニュース 年4回発行

編集担当：酒野直樹、永井亜希子、川口朋子、藤田隆司、寺井利夫、萬貴裕、太田哲生、岩田望、網谷郁美、北野早紀、竹中朋也、仲佐東、上野玲子、川上直子、宮田真由美、竹村健太郎、増田司、南澁太

発行所：公益社団法人 石川県作業療法士会

〒921-8043 石川県金沢市西泉3丁目28-1 東和第3ビル201 Tel 076-259-0678

発行人：東川哲朗 印刷：ヨシダ印刷株式会社